

【樹木・草花の部屋】

ダイモンジソウ (ユキノシタ科ユキノシタ属 Saxifraga fortunei var. alpina)

和名；ダイモンジソウ (大文字草) **別名**；イワブキ **英名**；

バラ目 多年草の山野草

原産地；日本、中国、朝鮮半島

花言葉；不調和、自由

花の色；白または赤



← 写真-1 ダイモンジソウ

撮影日：2012年10月29日

撮影場所：奈良県北葛城郡上牧町

T邸にて

撮影者：Tさん

知り合いからいただいたものです。庭の金魚用の池の陰に置き、一日1回水やりを続けました。半日陰で適度に水はけも良い環境でした。ハーブなどにやる薄い液肥をついでにあげるくらいの世話でした。

写真-2 ダイモンジソウの花 ⇒

撮影日：2012年10月29日

撮影場所：奈良県北葛城郡上牧町

T邸にて

撮影者：Tさん

うっかり、花が咲いたのを見逃すくらいでしたので、花をよく見ると本当に「大」の字がきれいに見え感動しました。「人」の字に見える花もあるそうで、人字草 (ジンジソウ) というそうです。



【樹木・草花の部屋】

写真-3 ダイモンジソウの花（ベニバナ）

⇒

撮影日：2012年10月29日

撮影場所：奈良市

M邸にて

撮影者：Mさん



紅色ダイモンジソウの写真を見せていただき白花と紅花を一緒に植えたらどうなるでしょうか？桃色になるのでしょうか？とつぶやいたところ、このようなお返事をいただきました。

*** **

薄いピンク色とは限りません。

12月頃花柄が枯れてしまうと、種を取って3月に蒔いて下さい。

紅花・白花・ピンク色等、いろいろな花を見ることができます。

タネを蒔いて3年くらいで咲いてきます。新品種が生まれるかも・・・楽しみですヨ。

大文字草を良く観察すると、花の色や品種で葉の裏側の色が白や赤色の物があります。これも観賞のひとつで面白いですヨ。

<ちょっと一言>

自生場所は、ひとつは、高山の日当たりのよいところ。もう一つは、低地の半日陰か日陰。どちらにしても、日が当たったほうがいいですが、日当たりよりも「水はけ」と「高温対策」の方が大事です。河原の岩場のように、水が流れていくような場所です。家庭では、毎日本水やりをしてその水を受け皿にためないということが大切です。水対策よりは、暑さ対策が大事です。

薬用植物です。薬効としては、便秘、むくみなどによく効き、利尿効果もあるそうです。乾燥したダイモンジソウを煎じて空腹時に服用するそうですが、使用时には専門家の指示が要るでしょう。

名前のいわれは、白い花が大という字に見えることからつきましたが、場所によっては、イワブキとも呼ばれていて、葉が「フキ」に似ていて、岩場にへばりつくように生えている様子から、イワブキと呼ばれています。

最近の山菜ブームでも、ダイモンジソウは、葉をよく洗い、水気をふきとり、そのまま、片面に薄くころもをつけて、テンプラにして食べるそうです。

ダイモンジソウは、最近も、多くの品種が改良されています。園芸店でも、季節によっては、けっこう見かけることができます。